

特集

和水町の国民健康保険財政が危険！

「このままでは、近い将来保険税の税率改正が必要です」

危機的運営状況となっている和水町の国民健康保険財政。
このままでは、保険税の税率改正を迫られます。
今回、和水町にはどのような特徴があるのか、要因や解決策を踏まえて紹介します。

国民健康保険とは…

国民健康保険は、病気やケガに備えて加入者（被保険者）が収入や加入者数などに応じて保険税を出し合い、そこから医療費を支出する相互扶助の制度であり、加入者みなで助け合いながら運営している制度です。

和水町国民健康保険の現状

和水町では、合併以来、同じ税率で加入者（被保険者）の皆さんから国民健康保険税を納めていただいています。

しかし、合併当時にあった国民健康保険事業会計の繰越金も年々少なくなっています。（平成21年度時点では、約2億6千5百万円ありましたが、平成25年度末時点では、約4千6百万円と約6分の1まで大幅に減少しています。）このほかに、国民健康保険財政調整基金も約2億円積立をしています。今年度（平成26年度）には、取り崩しが必要な状況です。

国民健康保険危機的状況の要因

要因として挙げられるのが、医療費の増加と加入者（被保険者）数の減少です。医療費は、高額の先進医療による治療や生活習慣病を起因とした病気の増加により、年々右肩上がりでの上昇の傾向にあります。

図1は一人あたりの年間の医療費の推移を示しています。平成20年度と比べ、平成25年度は約4万7千円も上がっています。

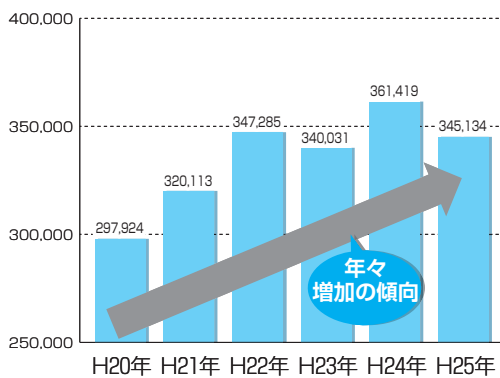


図1 1人あたりの医療費（単位：円）

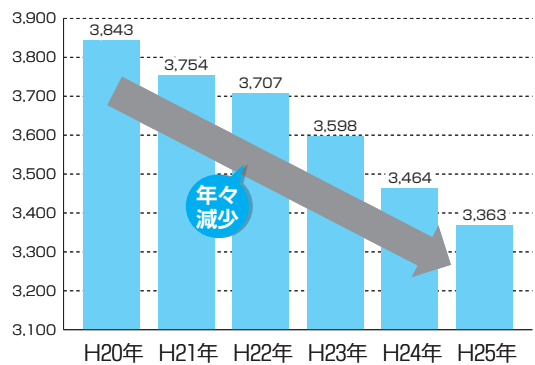


図2 被保険者数の推移（単位：人）

図2は、年度ごとの加入者（被保険者）数の推移を示しています。年々減少傾向にあり、平成25年度は平成20年度と比べ約500人減少しています。

つまり、和水町が医療機関などに支払う医療費は増加している一方で、その収入源である加入者（被保険者）からいただいている国民健康保険税は減少しているということです。家計でいうと毎月の収入は少なくなっている一方で支出は増え続けている状況です。

これ以上、和水町が支払う医療費が多くなれば、保険税の税率改正をお願いしなければなりません。国民健康保険に加入されている皆さんのご理解をよろしくお願いします。

国民健康保険に加入している皆さんにお願いしたいこと

- 1 特定健診、がん検診は毎年受診し、生活習慣病を予防しましょう。
- 2 歯磨きなどにより歯を大切にしましょう。
- 3 持病がある人は、かかりつけの医師と相談しながら健康管理をしっかりとしましょう。
- 4 ジェネリック医薬品を活用しましょう。
- 5 食事、運動、飲酒、喫煙など日々の生活習慣を見直しましょう。

医療費の支出を抑えるには、国民健康保険の加入者の皆さんが、日ごろから心とからだに気をつけていただき、大きな病気を招かないことが大切です。皆さんの健康づくりへの取り組みをお願いします！

問い合わせ先

本庁 税務住民課 国保年金係
☎0668-8665703
総合支所 住民課 民生生活係
☎0668-343111（内線752）